

公益社団法人日本女医会 2024 年度第 7 回理事会議事録

1. 日時・場所

1. 日 時 2025 年 3 月 15 日（土） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2. 場 所 ZOOM によるオンライン会議
3. 出欠席者

1) 出席者

理 事	前田 佳子	藤谷 宏子	青木 正美	青山 さつき	磯貝 晶子
	牛山 元美	大橋 俊子	織田 洋子	木村 友美	新谷 朋子
	樋渡奈奈子	宮坂 晴子	望月 善子		
監 事	芳川た江子	犬飼 ひろ美			

2. 継続審議事項

1. 第 70 回定時総会について (庶務部・前田会長・青木副会長) (承・継)
 - ① 進行・担当案
宮坂理事より 5 月 13 日（火）夜リモートで開催される支部・本部連絡会と 5 月 18 日（日）にハイブリッドで開催される定時総会、講演会、懇親会の進行内容が説明された。また青木副会長より、支部・本部連絡会が総会に先立ってリモートで開催されることは初めてなので、5 月に入ってから事務局よりメールで 2 回ほど再通知するよう依頼された。
 - ② 案内書案
宮坂理事より、3 月末に郵送予定の総会の案内書と委任状ハガキについて説明があった。資料として添付された各案内書の確認が求められた。
 - ③ 懇親会に関しては、前田会長から、今後神奈川支部にて詳細を検討していく予定であることが説明された。
 - ④ 総会資料として、以下が確認された。
 - ・ 2023 年度「功労会員・永年会員」リスト。尚、功労会員の該当はなかった。
 - ・ 支部代表および副代表者リスト
 - ・ 定時総会講演会チラシ
 - ⑤ 2026 年 5 月 17 日第 71 回定時総会予定地は東京、2027 年第 72 回定時総会予定地は大阪での開催が確認された。
2. 2025 年度ブロック懇談会について (承・継)
青木副会長より、前回から検討を進めているものの、現時点では決定に至っていない状況が続いているとの報告があった。また、前田会長からは、現在打診中の支部があることが説明され、引き続き連絡を取りながら進めていく意向が示された。

3. 軽井沢セミナー中止の件 (承・継)
- 磯貝理事より、10月に開催を検討していたイベントについて、今回は見送ることが報告された。理由として、カイロでの国際女医会と時期が重複していること、連休による会場予約の難しさが挙げられた。

3. 審議事項

1. 2025年1月・2月会計報告承認 (承・継)
青山理事より説明があり、2025年1月及び2月の会計報告が承認された。
2. 2024年度第6回理事会議事録承認 (承・継)
新谷理事より説明があり、2024年度第6回理事会議事録が承認された。
3. 「世界摂食障害アクションデイ 2025」名義後援依頼の件 (承・継)
前田会長より例年受諾している当該団体の名義後援に関して、2025年度も依頼が来ており、引き続き受諾したい旨の提案があった。審議の結果、全会一致で承認された。

4. 報告事項

1. 各部、NC報告
- 1) 庶務部報告
宮坂理事より、以下の報告があった。
- ・新入会員と会員動静について
 - ・吉岡彌生賞および荻野吟子賞の受賞者決定
吉岡彌生賞：鹿田儀子先生（社会に貢献された医師として）
荻野吟子賞：中島幹恵先生
 - ・「2025年度 理事会開催日」の日程について
- 2) 広報部報告
木村理事より、会誌254号について初校の校正依頼と、校了が4月7日である旨の説明があった。
- 3) 学術部報告
望月理事より、以下が報告された。
- ・第45回学術研究助成の審査結果
山崎倫子賞：中道蘭先生（慶応義塾大学医学部 特任助教）
田中恵里加先生（神戸大学大学院医学研究科・幹細胞医学分野）
石北綾子先生（九州大学病院循環器内科 助教）
 - ・第7回山本續子賞
村上綾先生（関西医科大学神経内科学講座 病院助教）
 - ・次年度募集について
次年度の募集に関する議論が行われた。「山本續子賞」に関しては、外部審査員から「若手」の定義に関するコメントがあった。この議論の中で、今年の医師国家試験において女性の割合が過去最高の36.3%に達したことを踏まえ、若

い女性医師の支援の機会を創出することが検討された。その結果、次年度の「山本繡子賞」応募年齢を「40 歳以下」に変更することが決定された。他の規定は前例を踏襲とする。また、これらの変更内容を「助成金のご案内」チラシに反映させることが確認された。

4) IT 部報告

磯貝理事より、支部・本部連絡会のホストと総会の配信を担当する旨の報告があった。

5) ナショナルコーディネータ報告

前田会長より、エジプト・カイロで開催される国際会議に関する説明が行われた。具体的には、日程、登録費用、ガラ・ディナー、参加費の内容、演題の申込、観光ツアー、フライトの情報などの概要が報告された。これらの詳細情報は、会議の公式ウェブサイトで確認できることが伝えられた。

2. 各委員会報告

1) ダイバーシティ推進委員会

木村理事より、2025 年度のキャリア・シンポジウムに関して以下の報告があった。収録候補日は 2025 年 9 月 27 日（土）または 10 月 4 日（土）で調整中。

講師は 4 月中に確定予定。

候補は小川眞里子先生（三重大学名誉教授、「ジェンダード・イノベーションの可能性」の専門家）と中嶋優子先生（国境なき医師団日本会長、米国在住のためオンライン収録も検討）の 2 名。

2) 長寿社会福祉事業委員会

牛山理事より、オンラインセミナーに関して以下が報告された。

・ 2024 年度セミナー

講師を務めた枝元なほみ氏が 2 月 27 日に逝去され、前田会長がホームページに追悼文を掲載。また、会報誌 5 月号には講演の抄録とともに追悼文を掲載する予定。心を痛めている中、セミナーの YouTube 視聴回数は現在 2,000 回を超え、反響の大きさと共に大変貴重な動画となっている。

・ 2025 年度セミナー

日程は、11 月平日夜に講演を収録、12 月上旬に配信を予定。

講師候補 2 名に交渉予定。

① 鳥居昭久先生（東京保健医療専門職大学 理学療法学科教授）

・ 専門：スポーツ理学療法、パラスポーツ

・ 講演テーマ案：介護する側の腰痛予防、将来介護予防レーニング

② 田口哲也先生（京都府立医科大学乳腺外科 名誉教授）

3) 女性の健康支援事業委員会

（樋渡理事）

樋渡理事より、以下が報告された。

・ 2024 年度セミナー

3 月 1 日～8 日に配信された公開講演会について、参加者数、視聴回数、ア

ンケート結果などが報告された。

・ 2025 年度セミナー

テーマは、「女性の健康」を原点とし、厚生労働省の重点課題である「女性が働きやすい環境」の視点を含めた月経困難症に関する内容を検討中。

講師は、望月理事から提案された複数の候補者の中から選定予定。

4) 小児救急・子育て支援委員会

藤谷副会長より、アレルギーに関する動画をホームページに掲載する予定であることが報告された。また、アレルギー学会が一般向けに制作した記事へのリンクも検討しており、これらの取り組みを進めていきたい旨の説明があった。

5) HP 製作委員会

前田会長より、前回の理事会(1/19)以降に掲載された 11 件の報告があった。

6) 女性医師デー4月6日（日）開催

前田会長より積極的な参加の呼びかけがあった。

3. 対外的団体活動

前田会長より以下が報告された。

1) 国際婦人年連絡会

1 月 22 日に第 8 回常任委員会が開催された。年間で計 8 つのセミナーが開催される予定で、本日（2025 年 3 月 15 日）最後のセミナーが開催された。この常任委員会では、セミナーの準備状況や報告を受けてきた。

2) 国連 NGO 国内女性委員会

国連で開催中の女性の地位委員会（CSW69）に関する報告があった。会議は今週から始まり、本日で 1 週目が終了した。今年は 3 月 13 日にサイドイベントが久しぶりに対面で開催され、UNTV で視聴可能となっている。

また、前田会長は来年のサイドイベントの責任者に決定し、今回訪米して挨拶を行った。さらに、今年 11 月には「2025 NGO 日本女性大会」を開催する予定で、会場はエッサム神田ホールに決定した。11 月 16 日（日）には講演会が行われ、ゲストスピーカーが紹介された。大会の準備が進められている様子が語られた。

以上

公益社団法人日本女医会 2025 年度第 1 回理事会議事録

1. 日時・場所

1. 日 時 2025 年 4 月 19 日（土） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2. 場 所 ZOOM によるオンライン会議
3. 出欠席者

1) 出席者

理 事	前田 佳子	藤谷 宏子	青木 正美	青山 さつき	磯貝 晶子
	大橋 俊子	織田 洋子	木村 友美	新谷 朋子	樋渡奈奈子
	宮坂 晴子	望月 善子			
監 事	芳川た江子	犬飼 ひろ美			
欠 席	牛山 元美				

2. 継続審議事項

1. 第 70 回定時総会について (庶務部・前田会長) (承・継)
- ① 「進行・担当表」、「永年会員一覧（郵送用）」
宮坂理事より総会に関し以下の確認があった。
- ・支部本部連絡会、講演会の各担当者
 - ・講演会講師、鎌田慧氏は青木副会長が懇親会会場まで案内する。
 - ・懇親会の式次第に関しては神奈川支部で最終決定し、メールで連絡する。
 - ・来賓の出席状況とお出迎えを後日明確にする。
 - ・永年会員の代表として宮城県の先生に参加していただけるよう樋渡理事より対応いただく。既に事務局より個別にご案内の手紙を郵送しているが、理事からの積極的な出席の声掛けを依頼された。
 - ・4/19 現在の出席予定者数より、座席に余裕があるため引き続き出席の声かけをするよう呼びかけられた。
- ② 2026 年第 71 回定時総会について (庶務部・前田会長) (承・継)
- 前田会長より、東京で 5 月 17 日（日）に開催されることが確認された。会場や講演会、懇親会の開催方法に関しては今後審議が必要ではないかとの意見が出た。
2. 2025 年度ブロック懇談会について (承・継)
- 前田会長より現在も打診や検討を重ねており、連絡を取りながら進めていく意向が示された。

3. 審議事項

1. 2025 年度キャリア・シンポジウム講師について (承・継)
- 木村理事より二人の講師候補の紹介があった。一人はアメリカ在住で時差がある為、

従来通りの収録には制約がある事から、収録や質疑応答のやり方を変えるなど実施方法を検討している旨の説明があった。どちらかの先生で決定することが承認された。

2. 2025 年度長寿社会福祉事業オンラインセミナー講師について (承・**継**)
大橋理事より、東京保健医療専門職大学リハビリテーション学部 理学療法学科 鳥居昭久教授の招聘について提案があり、承認された。「運動を通じた豊かな老後形成」をテーマに、理学療法士の視点から介護予防につながる講演を依頼する方向で調整中である。内容については、理論的アプローチに加え実技指導を組み合わせたオンライン配信形式を検討予定。スケジュールは昨年度の実績を参考に、12 月配信を目標とし収録日程および講演内容の具体化を進める旨が報告された。
3. 2024 年度事業報告および決算諸表の監査について (承・**継**)
藤谷副会長と大関監事より会計監査の報告があり承認された。
4. 2025 年 3 月会計報告承認 (承・**継**)
織田理事より説明があり、2025 年 3 月の会計報告が承認された。
5. 2024 年度第 7 回理事会議事録承認 (承・**継**)
新谷理事より説明があり、2024 年度第 6 回理事会議事録が承認された。
6. 2025NGO 日本女性大会分担金について (承・**継**)
前田会長より、今年 11 月 16 日開催予定の 2025NGO に関する説明があった。5 年に 1 回、国際婦人年連絡会で行われている大会で、加盟団体の分担金に関する説明が行われ 3 万円の金額が承認された。
7. 「吉岡彌生賞」「荻野吟子賞」の賞品価格高騰への対応方針について (承・**継**)
前田会長より賞品の価格高騰の状況が説明され、代替品を検討したい旨の説明があった。6 月以降の理事会で提示し意見を伺いたいとの発言があった。
8. その他 事務業務のスリム化について (承・**継**)
前田会長より、5 月末で事務員の交代を予定しており、この機会に業務のコンパクト化を検討したいとの発言があった。今後部門により検討を予定。理事に協力を求めた。また、前田会長より着手したい事として会報誌の見直しが提案された。
印刷するページ数を減らし、フルバージョンは HP に掲載することを主軸とする案の説明があった。理事会の議事録は印刷せず HP に掲載する。残したいコンテンツとしては、支部の先生が執筆される原稿としたい。QR コードを活用し、続きの講読は HP へ誘導するなど工夫することで印刷物のボリュームを下げコスト削減を検討したいとの説明があった。
これに対し、執筆依頼の段階でメールでのやり取りができない会員への対応をどうするか意見が交わされた。他の学会や機関の例から、投稿規定を設けデータのみの受付にしてはどうかとの意見があった。その他、印刷の回数を年 1 回程度に減らし、他はデジタル化にしてはどうか、ページ数を減らした場合の削減効果を知りたいという意見があった。

4. 報告事項

1. 各部、NC 報告
 - 1) 庶務部報告

宮坂理事より新入会員と会員動静についての報告があった。

2) 広報部報告

木村理事より以下の内容が報告された。

- ① 広告の趣意書に関し、まだ全理事の手元に行き渡っていないことが判り、事務局から趣意書のデータを配布することが確認された。また、新谷理事より広告勧誘に関する実施状況3件が共有された。木村理事からは積極的な勧誘の推進が求められた。
- ② 次号255号の「北から南から」の寄稿者の推薦、および褒章受章者の情報共有について呼びかけがあった。
- ③ 栃木支部会誌のホームページ掲載に関して。5月に「野路2号」が発行される。これまでは各支部長に郵送していたが、栃木支部もどこまで郵送するかが議題になっている。栃木支部にはホームページが現在無い為、女医会のホームページに「野路2号」を掲載することが確認された。

3) 学術部報告

望月理事より、前回の理事会で、山本續子賞の年齢について申請時に40歳以下と決定されたことを受けHPなどの修正が完了したとの報告があった。

また、前田会長より、吉岡彌生賞の規定に関して「社会に貢献」と「医学に貢献」の各1名となっているが、どちらか1名に修正したいとの提案が出され承認された。

4) IT部報告

磯貝理事より、総会の配信について部内で打合せを実施したことが報告された。

5) ナショナルコーディネータ報告

前田会長より今年開催される第33回国際女医会の早期参加登録や抄録の提出締切日、ツアーについて再度説明があった。

2. 各委員会報告

1) 女性の健康支援事業委員会

樋渡理事より子宮内膜症・月経困難症をテーマに、講師候補2名の紹介があった。講師の先生方が大変多忙の為早めに決定し、ゆとりを持って年内に収録を希望する旨の説明があった。また、対象とする視聴者が一般であることを考慮し、更に多くの男性にも視聴を求めたいとの意見があり、百枝先生を第一候補として進めることが確認された。また、この先のテーマ候補として「無痛分娩」についての意見が交わされた。

2) 小児救急・子育て支援委員会

藤谷副会長より、ホームページの相談室に掲載された以下の点について説明があった。

- ・新谷理事より「子どもの異物」について投稿
- ・「育ナビ」アプリの紹介
- ・日本耳鼻咽喉科学会「子どものみみ・鼻・のどの病気」についての記事を紹介

3) HP 製作委員会

前田会長より前回の理事会以降掲載された記事の内容が説明された。

4) 女性医師デー開催報告

前田会長より 4 月 6 日に開催された講演会の報告が行われ、アンケート結果も紹介された。今回は男性医学生に参加もあり研究テーマが共有され、盛会だった様子が語られた。

5) 長寿社会福祉事業委員会

大橋理事より、今年度のオンラインセミナーの進捗状況について報告があった。

3. 対外的団体活動

前田会長より以下が説明された。

1) 国際婦人年連絡会

常任委員会が 4 月 16 日に行われ、11 月に開催される「日本女性委員会」準備のことが主な内容であった。

2) 国連 NGO 国内女性委員会

CSW69 のサイドイベントの反省会を近く開催予定。

以上

公益社団法人日本女医会 2025 年度第 2 回理事会議事録

1. 日時・場所

1. 日 時 2025 年 6 月 21 日（土） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分
2. 場 所 ZOOM によるオンライン会議
3. 出欠席者

1) 出席者

理 事	前田 佳子	藤谷 宏子	青木 正美	青山 さつき	磯貝 晶子
	牛山 元美	大橋 俊子	織田 洋子	木村 友美	新谷 朋子
	樋渡奈奈子	宮坂 晴子	望月 善子		
監 事	芳川た江子	犬飼ひろ美			

2. 継続審議事項

1. 第 71 回定時総会について (庶務部・前田会長) (承・~~継~~)

宮坂理事より、第 71 回定時総会は 2026 年 5 月 17 日（日）東京にて開催予定であり、総会の場所は未定であるが、今年同様、支部本部連絡会を別日に行い、一日で総会、懇親会を終了するなど、今後もコンパクトな運営を目指し、開催地の状況にあわせて計画してゆきたいとの報告があった。

2. 2025 年度ブロック懇談会について (庶務部) (承・~~継~~)

宮坂理事より、開催地は未定で引き続き、検討していく予定であるとの報告があった。前田会長より、来年 6 月 21 日または 28 日に岡山支部担当案があることが述べられた。

3. 2025 年度キャリア・シンポジウム講師案について (木村理事) (~~承~~・~~継~~)

木村理事より、第 18 回ダイバーシティ推進キャリア・シンポジウムの講師を国境なき医師団日本会長の中嶋優子先生に快諾いただき、2025 年 10 月 4 日本郷スタジオで収録予定であることが報告され、承認された。

国境なき医師団では、セキュリティの観点から通常は録画・配信は断っているが、視聴者、配信期間を限定する場合はこの限りではないとのこと。ホームページでの公開についても期間を限定することで承諾いただいた。具体的な公開期間は今後確認することとなった。

4. 「吉岡彌生賞」「荻野吟子賞」の賞品価格高騰への対応方針について

(前田会長) (承・~~継~~)

前田会長より副賞の盾・プレートは物価高騰の影響もあり 1 年前より高額であった。2024 年度の表彰にあたっては検討を行う時間的余裕がなかったため、前年と同じ副賞を

選択した。2025 年度の受賞に向けては、次回理事会以降に他社の製品を調べ提案する予定であるとの報告があった。

5. その他 事務業務のスリム化について (前田会長) (承・継)

青木副会長より、事務業務のスリム化の一環として、理事会の議事録作成について提案があった。理事会で発言した者は自分自身で議事録を作成し事務局に送信することとする。尚、犬飼監事からの提案により、事務局作成のテンプレートに記入することが承認された。

3. 審議事項

1. 第 70 回定時総会の報告と反省 (承・継)

宮坂理事より、皆様の協力で総会が滞りなく終了したことにお礼が述べられた。

支部本部連絡会を別日に行い、経費削減のために総会を会議室で行い、懇親会はホテルで行うという試みは、天候にも恵まれて良かった。

反省点は、総会資料の校正の段階で、女性医師デーや支部本部連絡会を別日で開催した記述が抜けており、当日の変更が多くなってしまったことである。

前田会長より、今後の定時総会開催にあたってこの方式を強要するものではなく、開催方式に関しては開催地に一任することが承認された。

2. 第 70 回定時総会の会計報告（各賞受賞者の総会費 3000 円について） (承・継)

藤谷理事より、総会会計として、収入は会費の 3,000 円×31 名 93,000 円、神奈川支部よりの謝金補助として 10 万円 合計 193,000 円。支出は会場賃借料 137,000 円の他交通費など合計 676,673 円、講演謝金、印刷製本費 合計 230,296 円 総合計 713,969 円との報告があった。

また、来年度からは、各賞受賞者であっても、総会参加者からは、総会費 3,000 円を徴収することとなり、承認された。(今回は徴収せず)

3. 公開講演会報告 (承・継)

新谷先生より、公開講演会については、リモート参加人数は不明、対面参加 37 名であり、アンケート回答 22 名、本セミナーの満足度は良かったが 85%であったことが報告され、承認された。またインタビュー形式が良かった等の回答もあった。

4. 2025 年 4 月・5 月会計報告承認 (承・継)

青山理事より説明があり、2025 年 4 月・5 月の会計報告が承認された。

5. 2025 年度第 1 回理事会議事録承認 (承・継)

新谷理事より説明があり、2025 年第 1 回議事録については、各委員会報告 5) 長寿社会福祉

事業委員会を追加することとなった。

6. 宮城県女医会からの公開講演会助成申請

(承)・継)

樋渡理事より、2025 年 10 月 19 日に開催される宮城県女医会主催(宮城支部共催)の公開講演会について助成金の申請依頼があり、賛成多数で承認された(助成額は 5 万円)。尚、演題名は『「痛み」に対する新しい試み～スポーツ障害から変形性膝関節症まで～』、講師は JR 仙台病院整形外科主任医長の板谷信行氏。

4. 報告事項

1. 各部、NC 報告

1) 庶務部報告

宮坂理事より、新入会員と会員動静についての報告があった。

2) 広報部報告

木村理事より、会誌 255 号（2025 年 9 月 25 日発行予定）の原稿締切日 7 月 22 日を確
認告知したとの報告がされた。

3) 学術部報告

望月理事より、助成金案内のチラシは現状のままとし、応募に際し問い合わせがあっ
た件については、研究助成細則に反映し、加筆修正したとの報告があった。

助成金案内送付先は全国大学医学部（附属病院含む、但し、本院のみ）ならびに厚労
省管轄センターとし、改訂修正した。

4) IT 部報告

磯貝理事より、総会時の講演会について、配信はできていたが、録画ができておらず、
謝罪の報告があった。

今後、前田会長が鎌田先生にインタビューし、ホームページにも載せるようにする
との提案があった。

5) ナショナルコーディネータ報告

前田会長より、10 月にエジプト・カイロで開催予定の第 33 回国際女医会議は 6/30
が早期登録締切りであり、あらためて参加を呼びかけた。西太平洋地域の会議は 6 月
末か 7 月上旬にオンラインで開催予定。

2. 各委員会報告

1) 女性の健康支援事業委員会

樋渡理事より、これまで 3 月の『女性の健康週間』に合わせて公開されていた公開講演
会の講師の紹介と今後の日程について、(経費削減も視野に入れた講師謝礼等の検討も含
めて)11 月の理事会を目途に講師への講演依頼状並びにチラシの準備を含めて進めてい
きたい旨の説明があった。尚、当講演会より、経費削減を目的として、収録後の編集を
省いた形式が、審議事項で前田会長より提案され、今後の検討課題となった。

2) 小児救急・子育て支援委員会

藤谷副会長より、今回は何も掲載していないとの報告があった。

3) HP 製作委員会

前田会長より、修正済の総会資料を掲載し、表彰式の記事、各賞の 2024 年度の受賞者の記事を更新したことについて報告があった。

4) 長寿社会福祉事業委員会

牛山理事より、今年度のオンラインセミナーについて、講師との正式契約が進行中で、収録、配信について「耳」との打ち合わせが始まっていることが報告された。

4) 女性医師デー

前田会長より、2026 年 4 月の第 3 回記念イベントは 4 月 5 日もしくは 12 日を検討していること、理事の出席が多い日程で開催したいことが周知された。2027 年は楠本イネ生誕 200 年祭と連携したいと考えている。

3. 対外的団体活動

1) 国際婦人年連絡会

前田会長より、5 月 29 日に全大会及び総会が開催された旨の報告があった。事務局長が任期満了となったが後任が見つかっていない。座長が任期満了となった分野別委員会では新座長が承認された。6 月 18 日に 2025 年度第 2 回常任委員会が開催され、11 月 16 日に開催される 2025NGO 日本女性大会開催についてアナウンスがあった。

2) 国連 NGO 国内女性委員会

前田会長より、役員会は開催されていないとの報告があった。

4. その他

1) 事務員の交代について

前田会長より、5 月末での田中さんの退職、6 月 9 日から白幡さん（リクルート）の派遣が報告された。

2) 青森支部の事務委託について【追加】

前田会長より、青森支部から青森県女性医師の会との分離をして良いかという問い合わせがあったが、本部の意向で決める事ではないので、支部で判断していただく。青森県支部の事務作業を本部に委託したいとの要望があったが、公益社団法人の規約上支部の仕事を引き受けることが出来ない旨を返信する。

以上